

予算に対する討論

「未来への挑戦」～過去最大の予算規模～

平成29年度当初予算案(一般会計、3特別会計及び1企業会計)に対し、4名の議員が各会派を代表して、同予算に対する討論^{*}を行いました。その概要は次のとおりです。

*討論…議会の会議において、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいいます。海老名市議会では、討論は原則として会派を代表して行うこととしています。

創志会

賛成

○平成29年度当初予算案(一般会計、3特別会計及び1企業会計)に賛成します。

▽歳入では、税収増につながるまちづくりを戦略的に推進してきたことが着実に実を結んでいるものと推察します。

今後も、基金と市債のバランスに留意し将来につながる事業への活用を期待します。▽若者(学生)定住促進事業は、学生の定住促進を図る施策の柱として大いに期待します。

▽平成29年度中に策定予定の学校施設再整備計画について、持続可能で夢のある計画となるよう要望します。▽海老名運動公園の再整備について、将来にわたり広く市民に愛される施設として夢のある計画の策定を期待します。▽今後

の学校を中心とした地域コミュニティづくりは、学校応援団や自治会をはじめ地域の声にしっかりと耳を傾け、丁寧に進めさせていただきたい。▽海老名駅東西一体のまちづくりについて、特に相鉄線海老名駅北口駅前広場の用地交渉については、慎重かつスムーズに進め、北口開設に遅れることのないよう留意いただきたい。▽海老名駅→寒川駅間路線バスの本格運行にあたり、利用しやすいダイヤ作成など、利用率を上げ公費負担を減らす施策を同時に検討されることを期待します。▽さがみ野駅周辺のまちづくりについて、これまでの調査結果をもとに基本計画の策定および関係機関や近隣自治体、周辺地権者との協議などの連携を期待します。▽柏ヶ谷地域のまちづくりでは、瀧ノ本地区の今後の開発における集会所の設置、自治会館、コミセンのあり方、住居表示の実施も併せて検討されることを期待します。

▽下水道事業が特別会計から企業会計に移行し、経営状況や財政状況の一層の明確化と経営の効率化、健全化が求められます。円滑な運営を望みます。▽「未来への挑戦」として計上された各事業について、計画的かつスピード感のある展開を期待します。

いちごの会

賛成

○平成29年度当初予算案(一般会計、3特別会計及び1企業会計)に賛成します。

▽障害者第三デイサービスセンター(あきば)や下今泉保育園などの建設事業により、普通建設事業費は2年ぶりに増加に転じましたが、共生社会の実現につながるものと期待します。▽子育て支援政策は、新たな子育て相談課の設置、地域版子育て支援センターの設置、学童保育支援事業の充実など評価します。今後、産前産後ケアに取り組み、育児相談や一時預かりの場所を地域ごとに整備し、待機児童の早期解消を目指すことで、安心して子どもを産み育てることができるまちへの前進を期待します。▽学生家賃補助事業と奨学金返還補助事業は、格差が拡大している中、若者にとって生き方の可能性を拓げる経済的支援となり、また、卒業後住み続けることになれば、生産年齢人口が増加し、持続的なまちづくりへつながります。周知方法や転入してきた学生が卒業するまで助成が継続するような制度にしていくことが必要と考えます。▽指定管理者の第三者評価が行政運営推進事業として行われます。指定管理者制度の第三者評価が市民サービスの向上と管理運営経費削減となつているか、客観的な評価につながることを期待します。▽今年度は一般会計の補正予算が11本とここ数年では最多でした。2017年度は計画財政として、当初予算にしっかりと組み込むべきと考えます。



学生家賃補助事業と奨学金返還補助事業